

研究名： 排卵誘発剤を併用した人工授精（IUI）周期の排卵数と妊娠率について～
単一排卵周期で妊娠率向上が望めるか～

1．研究の目的

不妊症の治療で、人工授精（IUI）という方法があります。IUI は自然の排卵周期で行うよりも、排卵誘発剤を併用することにより妊娠率が上がることが知られています。排卵誘発剤使用により、複数個排卵することがありますが、排卵数と妊娠率の関係はよく分かっていません。本研究では、IUI における排卵誘発剤使用時の排卵数と妊娠率を調べることにより、複数排卵することにより妊娠率が上昇するか否かを検討します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2015年11月1日～2020年7月31日に人工授精（IUI）をされた方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月

研究方法：カルテ情報を用いて、患者さんの年齢、経妊経産回数、不妊原因、IUI の既往回数、刺激の方法（自然周期かクロミフェン周期（CC）かゴナドトロピン周期（Gn）か）、排卵数、妊娠の有無、妊娠の転機（生化学妊娠、流産、子宮外妊娠、正常妊娠など）を検討し、排卵誘発剤を併用した周期の IUI の排卵数と妊娠率を、排卵誘発を併用しない周期の IUI の成績と比較検討します。

3．研究に用いる情報の種類

患者さんの年齢、経妊経産回数、不妊原因、IUI の既往回数、刺激の方法（自然周期か CC か Gn か）、排卵数、妊娠の有無、妊娠の転機（生化学妊娠、流産、子宮外妊娠、正常妊娠など）、これらの情報は、カルテから収集する際に匿名化されるため、個人が特定されることはありません。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、7月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 不妊診療科 網田 光善

住所：東京都世田谷区大蔵2-10-1

電話：03-3416-0181（内7263）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 不妊診療科 網田 光善